日本学術会議憲章検討分科会（第１０回）議事要旨

１．日　時：令和８年７月２９日（水）１０：００～１１：３０
２．場　所：オンライン開催
３．出席者：磯博康委員長、中村征樹委員、芳賀満委員、加藤和人委員、樋田京子委員、
　　沖大幹委員、森口祐一委員

４．議事次第
（１）前回議事要旨（案）について
（２）日本学術会議憲章案について

５．配布資料
・資料１　前回議事要旨（案）
・資料２　日本学術会議憲章案
・資料３　日本学術会議憲章案におけるコアとなる用語の解説について
・資料４　日本学術会議憲章案に対する意見一覧について

６．議事概要
日本学術会議憲章案について（主な意見）
・科学者の用語について、日本学術会議においてこれまで用いてきたというだけでなく、分科会において海外アカデミーの情報収集を行った上で検討したという経緯があるため、そのようなエビデンスがあることを示してはどうか。
・市民社会の用語について、組織ではない立場の個々人を個々の「市民」とするが、市民とは、国籍や法的な市民権の有無によって限定されるものではなく、社会を構成し、その活動に関わる個々の人びとを広く含む概念ということは解説において明確にすべきではないか。
・前文や背景説明において、学術会議が、これまでの独立、自主、自律の精神などは継承しつつも、発展的に変わっていくという姿勢は示しておくことが良いのではないか。

以　上